

トップインタビュー

1999年1月3日

1998年1月3日

介護保健法が昨年十二月に成立した。寝たきりや痴ほう症などで介護が必要な高齢者に二〇〇〇年四月から介護サービスがスタートする。

福祉器具や介護用品を専門に取り扱うタイエイM&C

の副島幸雄社長は「市場は大きい。早急に二級ホームヘルパーが必要だ」と話す。福祉総合産業として二十年を超える着実な実績を積み重ねてきた。海外視察を毎年行い、昨年は福祉先進国のドイツに専門員

を派遣し介護保険制度を学び、いち早くサービス基盤の整備に取りかかった。県内だけのシニアではない。高齢化社会の急速な進展は二〇〇〇年には二百八十万人が介護を要すると見られている。県外は久留米

支店があるが、社会のニーズに合わせるため拡大を求められている産業といえる。リハビリ介護用品機器のショールームが小城郡三日月町にある。明るい店内に床ずれ防止のスリーモーターベッドやお

しゃれな木製ポータブルトイレ、折りたたみ式シルバーカーなど新製品が並ぶ。レンタルサービスもあり、福祉施設や在宅サービスにの充実に役買っている。

福祉現場に精通するタイエイM&Cならではの心配りがみられる。「在宅ケアの実践に、官民一体となったネットワークが必要」

と副島社長。二〇〇〇年まであと二年。今年が飛躍一番、社運をかけた年」とエネルギッシュに決意を語った。高齢者ケアサービス体制支援に、最も注目される企業といえる。

ど進んだ商品が並ぶ。三日月町は佐賀市をはじめ福岡市、久留米市など大きな需要を抱える都市まで、車で四十分のところに位置する。佐賀県内だけでなく、隣接する大都市をどう攻略す

るか。飛躍の二つのポイントだろう。

介護サービスがスタートする。

介護保健法が成立し、いよいよ二〇〇〇年四月から介護サービスがスタートする。福祉器具、介護用品のレンタルを手がけるタイエイM&Cの副島幸雄社長は「願ってもないビジネスチャンス」

という。介護サービススタート時は、介護を要する人が全国に二百八十万ともいわれ、二十四時間体制を維持するためには、民間の参入が不可欠といわれている。「市場は大きい」。不況の風

が吹き荒れる中で、副島社長はビッグチャンスに意欲を燃やす。タイエイは三日月町に介護用品のショールームを構える。明るい店内には床ずれ防止のベッド、ポータブルトイレな

だ利益だけのためでない。福祉という大きな目的のために動いている。目の前まで迫った介護サービス開始に向けて、準備の総仕上げに副島社長は余念がない。

介護サービスに向けて体制を整える。

タイエイではこれらの用品を販売、レンタルしているのだが、介護用品のレンタル

には大きなリスクが伴う。レンタル品を常時備えて置く倉庫、消毒する設備など、県内でもこれだけのシステムを整える業者は数少ない。一た

株式会社大平

タイエイM&C

代表取締役 副島 幸雄

小城郡牛津町牛津一五二四

電話0952(66)0206

